

ここに一人の巨乳娘が眠っていた。
名前は勇希(ゆうき)という。

うん…

「う…うん…
いつの間にか…
寝ちゃってた…」

ぽんぽん

ぽんぽん

むち♡

はっ！

「ちよっ！？
ま、また女に
なってるう！」

ぽんぽん

ぽんぽん

「義父さんったら
またボクの夕飯に
女体化薬を混ぜて
いたんだな！
明日は大事な会社の面接
だからエッチの相手は
無理だってあれほど
言ったのに！」

この女体化薬は
眠ると効果を発揮し
夜な夜な義父が
夜這いに来るので
あった。

その時だった！
いきなり勇希の部屋の
ドアが開かれた！

「まあ、
義父さん！
今日はエッチの相手は
しないから…
エエッ？」

「まあ、
エロエロだな、
残念だったね、
オヤジでなくて、
それにしても
本当に女体化
するとはね」

「に、義兄さん！
ど、どうしてえ！
いやああ！
見ないでええ！」

「勇希…
ゴクリ…
エロいおっぱいが
そんなに揺れてっ！
股間も割れてるう！
や、やばいな！」



「で、出てってよー!」
「ハッ」
「あああ…」
「オヤジの相手ばかりしてないでオレともエッチしようぜ!」



「や、やだよ!」
「義父さんだって
本当は嫌なんだよ!
でも母さんが仕事で
遅い時は義父さんが
夕飯を作るから…
それで女体化薬を
入れられて…」



「嫌?こんなに濡らしてるのに?
無理すんなよ」
まさか義弟が女体化して義父とは
いえオレのオヤジと近親相姦する
変態だったとはね」

「だ、だ、だってえ!
義父さんってエッチが上手くて
巨根で…それに女体って
すごくキモチイいんだもん!
仕方ないもん!」

「わぁっ」

次ページからは音声も交えて
お楽しみ下さいませ。

「えっ？」
オナニーを見せたら
エッチしなくていいの？
…わ、分かったよ…
少し…残念だけど…
あーううん！
こっちのことゝ
明日は面接で朝が
早いんだ…」

「…うん…はああ…
そんなにガシ見しないでよ
…や…やっぱり…
は…恥ずかしいな…
えっ？義父さんには
秘密で薬を使ったの？
これってすごく高い薬
らしいよゝ知らないよゝ
…へへえゝそうなんだ…
そんなに女体化したボクと
エッチしたかったんだ…
親子揃って好みが同じ
なんだね…
そんなに…ボクとやりたい？
…しようがないなゝ
一回だけなら…いいよ…」





「入りたいのでしょうか？」

いいいよ...

どうしたの？

早くうう

焦らさないですよー」

わあああ..

ド入ッ
チッパ♡

「んはああ！後ろからなんてえ！

いきなり子宮奥まできちゃった！

義兄さんもおっきいんだうう、うん...キモチイイよ

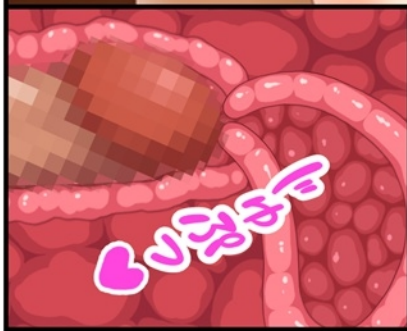
普通の女の子みたいに絶頂もできちゃうのよー

えっ？キツイのうんぬ！

まだキツクできるよー」

びっ

びっ



♡いっしょ

数日後…

（結局、ボクは内定が決まらず…
ついにはどうやって義父さんと
義兄さんの相手を同時に…
3Pをしている…
明日の面接もまた落ちそうだ…）

（こんなAV女優みたいになれても
感じてしまうボクがいる…ああ…
下の階で寝ている香気な母さん…
ボクが悪いんじゃないからね！
こんな変態親子と家族になった
母さんが悪いんだからね！）

FIN